

1 主語・述語 / 国語辞典の使い方

トレーニング

1 次の(1)～(3)の文の主語、(4)・(5)の文の述語を記号で答えましょう。

(1) ぼくの祖母は、毎朝 犬の散歩をします。

主語

(2) 昨日、先生がおもしろい話をしました。

主語

(3) あぎやかで大きな絵が、白いかべにかけられた。

主語

(4) 姉はみんなに、おいしそうなケーキを作った。

述語

(5) 四さいの弟は、庭のプールでよく泳ぎます。

述語

【チェック】 わからない場合は、P.84「文のしくみマスターポイント1」を読もう。

2 次のうち、かなづかい、送りなが正しいほうを選び、記号で答えましょう。

(1) 物語の〔ア つづき・イ つづき〕。

(2) 親切な〔ア おねえさん・イ おねいさん〕。

(3) 〔ア 一人ずつ・イ 一人づつ〕前に出る。

(4) 全力で走ったので、息が〔ア 苦い・イ 苦しい〕。

(5) バトンのわたし方を〔ア 教わる・イ 教る〕。

(6) 全員、〔ア 後ろ・イ 後〕を向いてください。

3 次の文の——線部の言葉の意味を国語辞典で調べるとき、どんな形で調べますか。言い切りの形を答えましょう。

(1) 二人で手をつないで歩きます。

(2) ゴールはとても遠かった。

(3) 丸く輪になって、歌いましょう。

実カアップ

1 次の(1)～(3)は文の主語と述語をそれぞれ記号で選び、(4)～(6)は

1 「」の言葉を使って主語をおぎない、つながりに気をつけて書き直しましょう。

(1) わたしたちは イ南丘小学校の ウサッカー部員です。

主語 [] 述語 []

(2) 中学校の イグラウンドは エここよりも オかなり広い。

主語 [] 述語 []

(3) ア居間で イ弟が ウテレビを エ見る。

主語 [] 述語 []

(4) ぼくたちにとって大事な日だ。【明日】

(5) 外でにぎやかにさえずる。【鳥たち】

(6) とてもきれいな夕やけ色だった。【空】

2 次の文中には、かなづかいがまちがっている部分がそれぞれ一か所あります。まちがっているかなの右側に「」線を引き、正しいかなを書きましよう。

(1) となりのおばさんに「こんばんわ」と、あいさつをした。

(2) がいこくのおおじがたびにでた。

(3) ゆうびんきよくでこずつみをおくる。

3 次の文中には、送りがながまちがっている部分がそれぞれ一か所あります。まちがいを直し、正しい文を書きましよう。

(1) 母がスープを温ため、ぼくが皿を運んだ。

(2) 今日は空は明るいが、昨日より寒むいようだ。

(3) 親鳥が大切に育くんだひなは、すくすくと育った。

4 次の言葉を国語辞典に出ている順にならべ、記号で答えましよう。

(1) ア きおん イ きかい ウ きおく エ きけん

(2) ア チーム イ チーズ ウ ちいき エ ちり